

日本共産党前都議会議員

そねはじめレポート

2月28日(木) No.64

発行：そねはじめ事務所

〒114-0032 北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135 Fax: 3906-3225



国保値上げやめよ 特養ホームの大幅増設を!

「暮らしを守れ」と知事に迫る

日本共産党が都議会代表質問

2月26日の都議会で日本共産党清水都議が代表質問に立ち、猪瀬知事に①国保料値上げをストップ、4万3千人の特養ホーム待機者解消を②保育園待機児解消は認可園で③最低賃金千円実現に努力を④パソコン活用や買い物弱者支援など中小企

業対策⑤原発ゼロへの決意⑥地域限定なしの住宅耐震助成を⑦外環道新設より老朽化した社会資本の維持更新を⑧現憲法否定の姿勢からの脱却などを、都民要望の実現をもとめました。



質問する清水都議

清水氏は、毎年のように国民健康保険(税)が値上げされ、23区では給与年収200万円の夫婦2人世帯の場合、2013年度には3年前より72%の大幅値上げになると指摘、財政支援を求めました。また、待機者が4万3千人に達する特別養護老人ホームの大幅増設を提案しました。

★認可保育園の大幅増を

清水都議は、国・都有地を活用し、安心できる認可保育園の



答弁する猪瀬都知事

増設を中心に2万2千人の待機児解消を訴えましたが、知事は保育士も少なく園庭もない認証保育に固執しました。



★原発・最低賃金では都独自の取り組みも

原発ゼロの姿勢を求める質問に、知事は「東京の現状は原発ゼロ」だが東電の原発再稼働は国の規制の問題だとしました。ただ日本は廃炉技術で世界をリードすべきとの見解や、太陽光パネル普及には初期費用ゼロの制度をつくるなどの答弁もありました。最低賃金引き上げについて知

事は、国の決定に都が関与すべきというなら(共産党と)共闘できると発言。国の審議会に出席した都の代表が、現状の最低賃金では単身青年でも生活保護以下だと指摘して引き上げが促進された例もあります。

★住宅耐震助成の遅れを無視

震災対策では、「自助・共助」前面の計画を石原都政から踏襲し、都の役割を幹線道路等に特化する姿勢を表明。都が上から押しつけた補助81号線道路を北区民の運動で一部撤回に追い込まれたことなどに反省は見られません。

5年間で数百件しか適用のない住宅耐震助成も「制度は有効」との答弁でした。

北区の保育園児
待機

昨年春の10倍に急増?!

日本共産党区議団 緊急対策を要望

「子育てするなら北区が一番」をかかげる北区では、区内の保育運動と共産党区議団の粘り強い運動で認可保育園を中心に整備を進め、昨年までに入園待ちの待機児を数十人まで減らしてきました。

しかし子育て世帯の経済状況の悪化や他地域からの転入も含め、現在は保育園の申し込みが急増。現在は

だ流動的ですが500人規模の待機があり、うち半数は一歳児というところが判明しました。

共産党区議団は区の緊急対策を求めており、現時点では保育園ごとの定数の工夫などで約80人ほど増える見通しです。今後とも都を含めた抜本的な待機児対策が必要です。



王子駅で宣伝するそね・池内・宇都宮氏ら（2月21日）

そねはじめも
参加します！



昨年の3・11に参加した
そねはじめ前都議

さよなら
原発 in 飛鳥山

2013 3月10日（日曜日）午後1時30分開会

◇飛鳥山公園集会后、王子・三角公園からパレードを行います。予定15:30から
◇午後1時頃より文化行事（うた声）を行う予定です。集合はお早めに。

被災者に つながり
連帯

3月10日午後2時46分
参加者全員で黙祷（もくどう）をささげます

原発はもういらない

黄色のふうせんもらえるよ

そねはじめ切り絵の世界「NO. 11」

瓦礫の中に立ちトランペットを吹く少女



東北大震災直後、陸前高田取材した新聞記者が、瓦礫と化した自宅の前で亡くなった家族への鎮魂のトランペットを吹き、泣いてはまた吹く女子高生の姿を撮影して新聞の1面に紹介されました。

私もこれに心を動かされた一人ですが、東京の音楽家が年の暮れに彼女を招いてコンサートを開き、最後に彼女が演奏したのが、がんで入院中に亡くなったザードの坂井いずみの「負けないで」。その姿をイメージしてきり絵をつくりました。彼女はその後福島看護系の大学に進んだと聞いています。